

だより 県本部

広島県本部



鶏卵加工包装事業 を共同化

生産と販売を一貫したインテグレーション体制を構築

施設内には視察用通路を完備しており、また、高度な品質・表示・衛生管理により、安全・安心な商品を提供し、生産者と消費者の信頼関係を築きます。

事業共同化による生産と販売のインテグレーション体制を構築

鶏卵事業の強化へ期待がかかる三次GPセンター（全景）



竣工披露会であいさつする高下県本部長



広島県本部は、県内の鶏卵加工包装事業を強化するため、広島県本部の同事業を担う、100%出資子会社の全農広島鶏卵株式会社との三次GPセンター※と、JA広島市の養鶏鶏卵センターを統合し、3月18日に、新「三次GPセンター」を竣工しました。

安全・安心な製品を消費者へお届け

新GPセンターは、旧GPセンターの老朽化に伴う更新です。洗卵・選別・包装作業の独立稼働を実現する最新のタワー型システムを導入し、集荷した鶏卵は、農場やサイズ、色別に仕分けし、注文に応じてパック詰めします。日量25トンの処理が可能です。

県内のJAグループの鶏卵事業は、JA広島市と広島県本部・全農広島鶏卵株式会社で個別に行ってききましたが、今後は、事業の永続性と一層の効率化を図るため、生産農場とGPセンターの再編整備を柱とする長期構想に基づき取り組みます。

今回の事業共同化は、GPセンターの再編整備にあたります。平成25年10月に3者による共同事業体制の調印式を行い、今年4月から加工包装事業や物流の効率化を進めるため、グループが一体となった運営を始めます。JAグループ広島は、市

生産能力の向上を可能にした最新設備



場の需給動向に迅速に対応し、県内グループの生産・加工状況を踏まえた広汎な営業活動によって販売力の強化を図り、生産者の手取り最大化に向けた体制の強化を実践していきます。

※GPセンター(Grading & Packing Center)は生産農場で産まれた卵を洗浄殺菌し、重量毎にサイズ格付・包装する施設